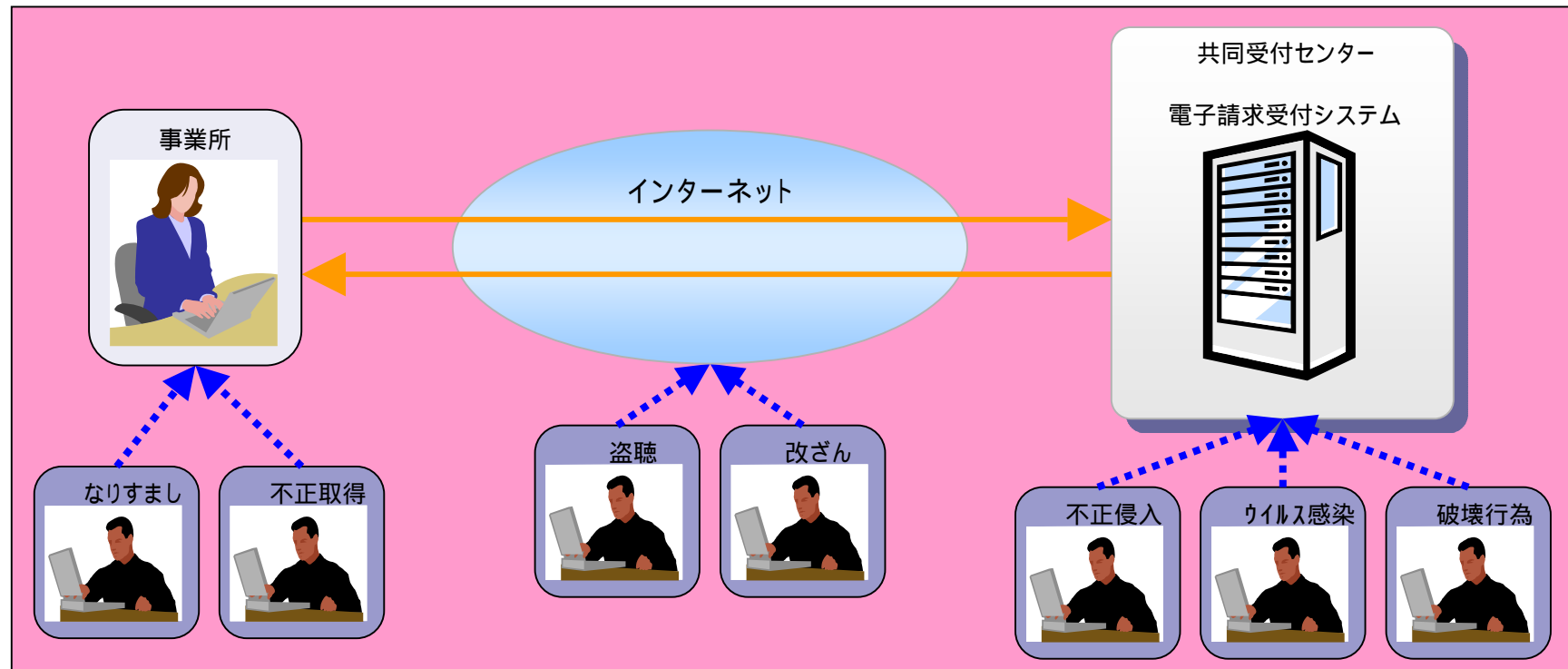


電子請求受付システムの セキュリティについて

システムに起こり得る脅威



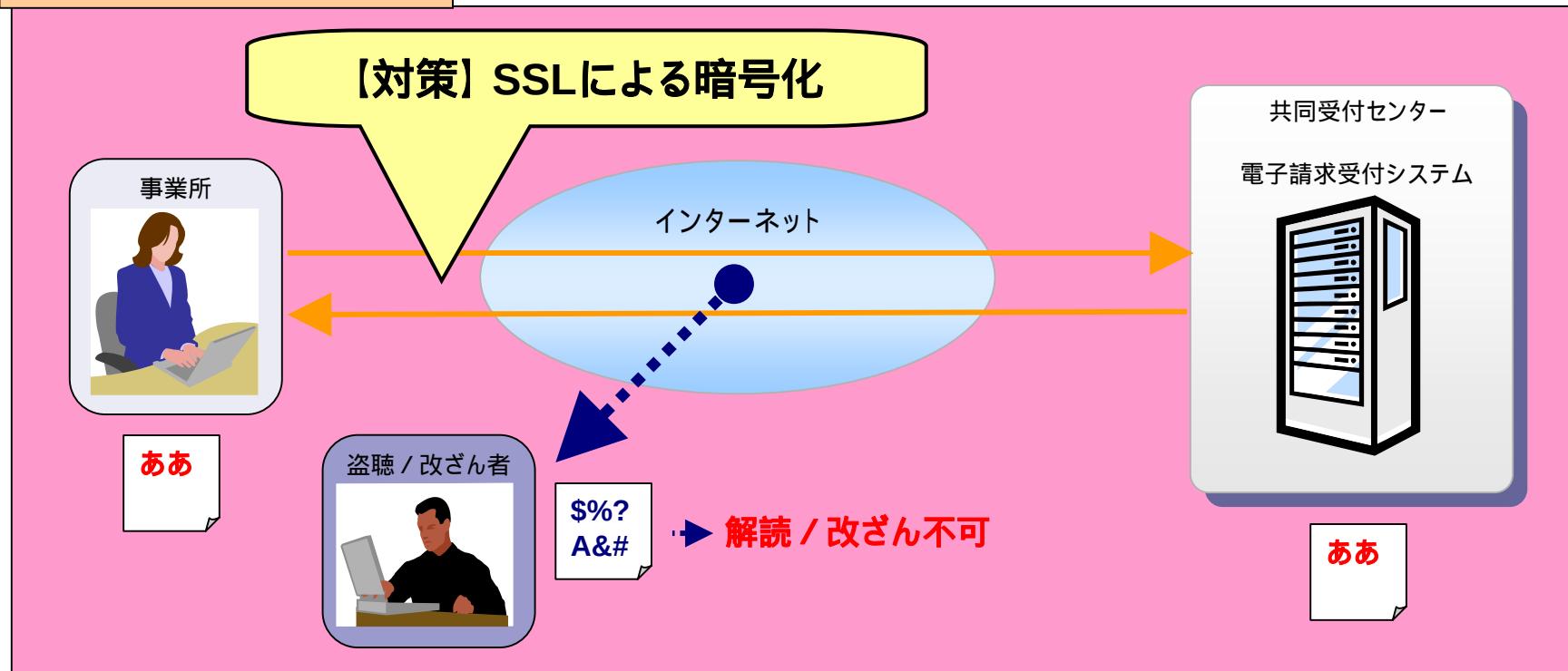
想定される影響・・・

盗聴	： 情報の流出
改ざん	： 請求情報の改ざん、通知文書の改ざん
なりすまし	： 不正請求による申請、請求の取消し
不正取得	： 情報の流出
不正侵入	： 情報の流出、データに対する不正操作、端末などの盗難
ウイルス感染	： 業務の停止、情報の流出
破壊行為	： 業務の停止

物理的な侵入の他にネットワークからの侵入も含まれます。

インターネットにおけるセキュリティ(1)

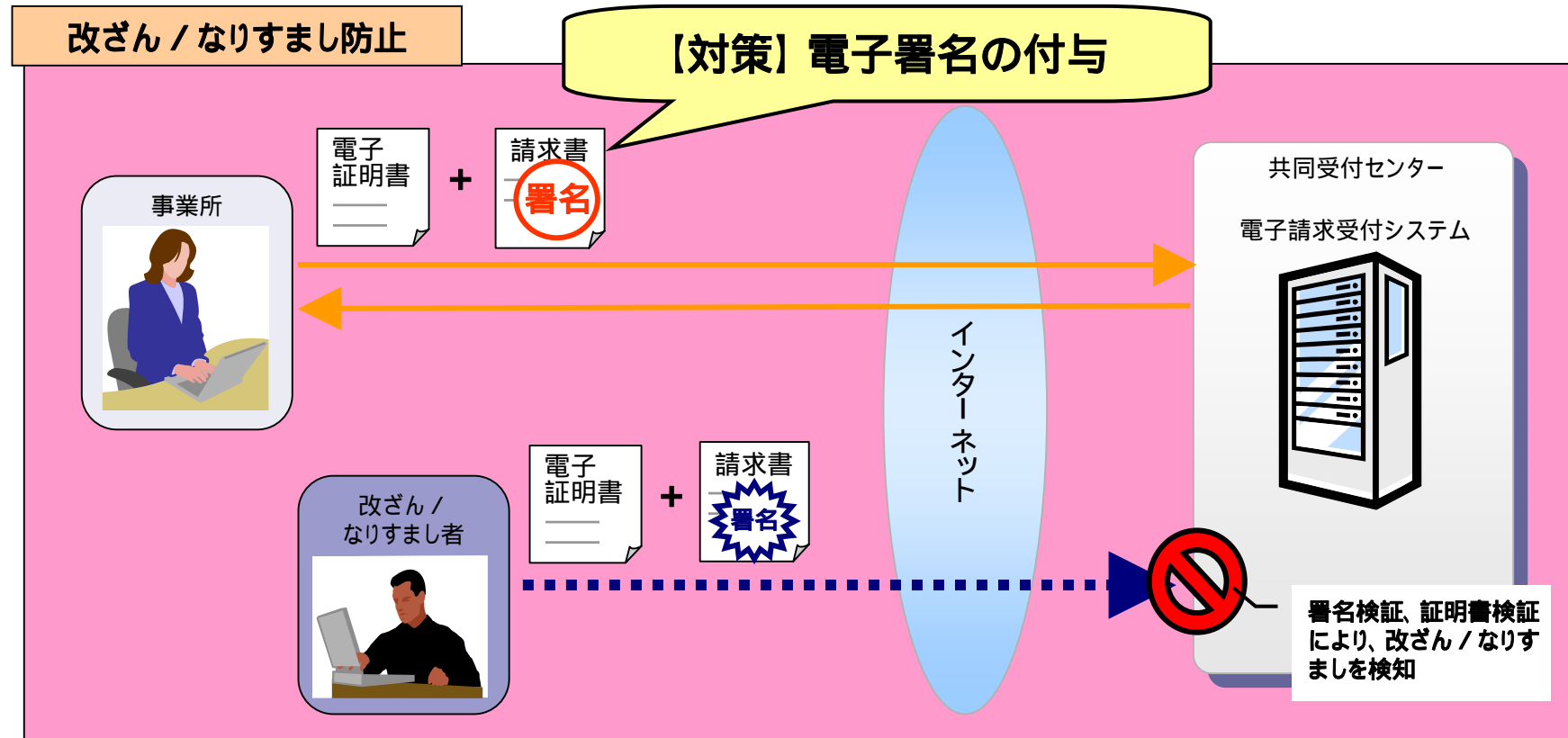
盗聴 / 改ざん防止



SSL (Secure Socket Layer) とは …

インターネット上で情報を暗号化して送受信するプロトコルです。
ブラウザに表示されるURLの先頭が「https:// …」となります。

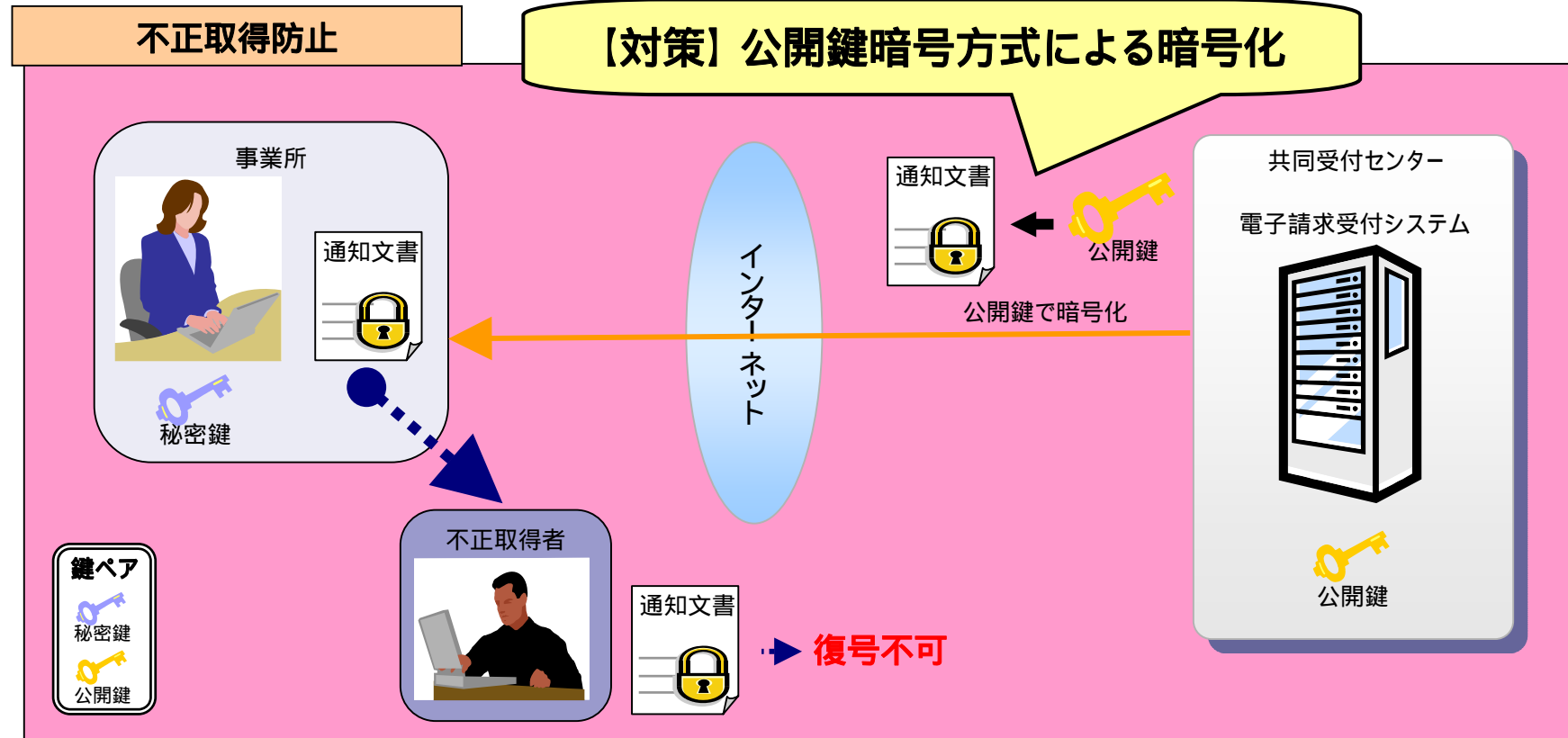
インターネットにおけるセキュリティ(2)



電子署名とは・・・

電子文書の完全性を保証するために行なう電子的な署名です。
作成者や改ざんの有無を確認できるようになるため、改ざん / なりすまし防止に有効です。

通知文書に対するセキュリティ



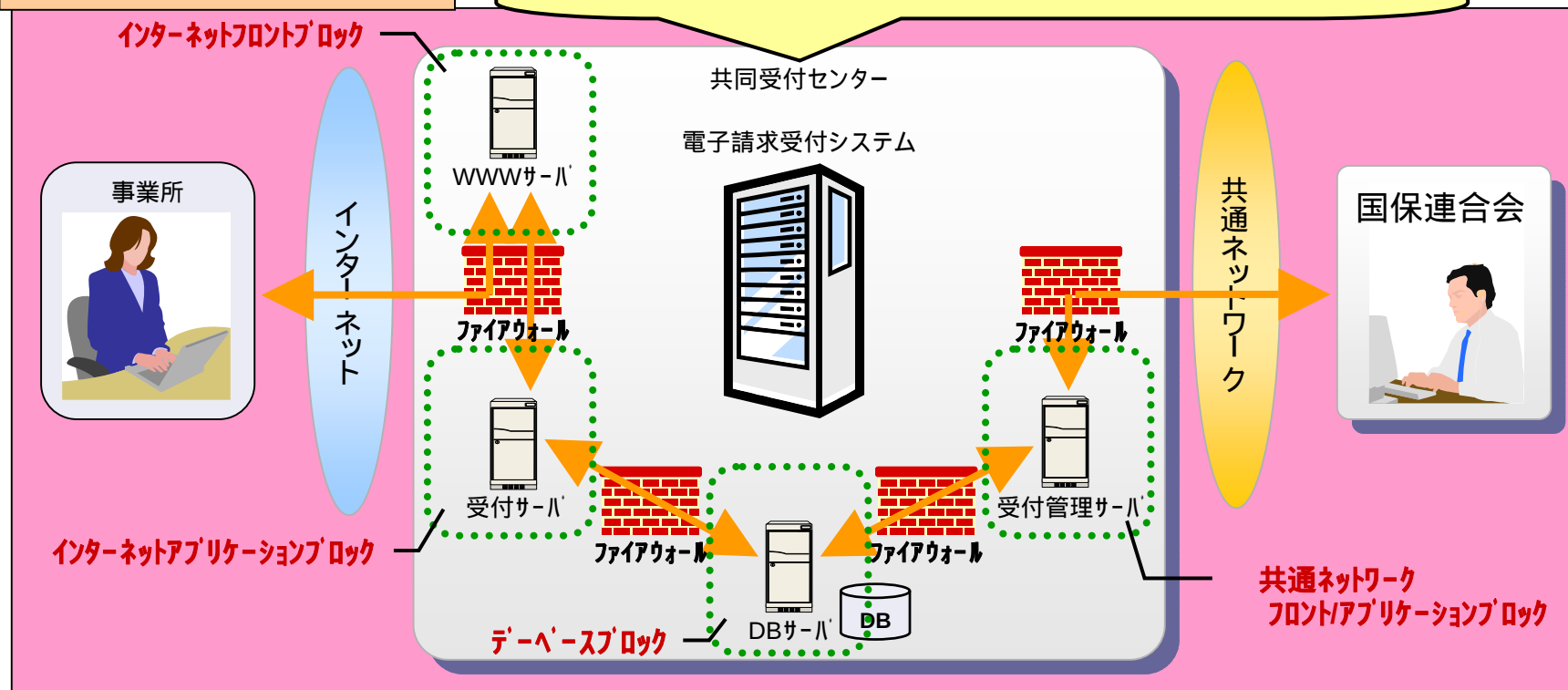
公開鍵暗号方式とは・・・

ペアとなる異なる2つの鍵を利用した暗号方式です。
一方の鍵で暗号化したものは、ペアとなる他方の鍵でしか復号できません。

システム構成におけるセキュリティ

ネットワークからの不正侵入防止

【対策】ファイアウォールによる適切なブロック分割



電子請求受付システムのシステム構成について・・・

電子請求受付システムでは、総務省基本仕様()をベースにシステムを構成し、セキュリティを確保しております。

総務省が作成した「汎用受付システム構築の参考資料(調達編・共同方式の場合)」を参考にしております。

共同受付センターのセキュリティ

【対策】不正侵入 / ウイルス感染 / 破壊行為防止

- 監視カメラ設置、24時間365日監視 / 警備員常駐
- 防犯センサの導入
- ICカードと生体認証(手のひら静脈認証)による入退室の管理
- 金属探知機の導入(端末などの不正持込み / 持出し防止)
- 専用ファイアウォールのポリシー管理
- 共通IDS(Intrusion Detection System)()の管理
- ウイルススキャンの実施
- 入退館の管理
- データ保管庫への入室限定
- セキュリティチェックの実施
- 情報セキュリティマネジメントシステム(ISMS)取得

通信回線を監視し、ネットワークへの侵入を検知して管理者に通報するシステムです。

